

平成26年7月30日

南海電気鉄道株式会社

高野山開創1200年記念大法会を機に
霊峰“高野山”の玄関口が生まれ変わります

高野山駅の駅舎改修を実施します

極楽橋駅的美装化工事もあわせて実施します

平成27年、高野山が弘法大師空海によって開創されてから1200年目を迎えます。これを記念して執り行われる大法会に合わせ、南海電鉄（社長：亙信二）では、高野山駅において現在、駅舎の改修を実施しています。また、極楽橋駅においても今後、駅構内の美装化工事を実施します。

高野山の玄関口とも言える2駅を美しく改修することで、国内外から訪れる参拝や観光のお客さまを出迎える駅としてふさわしい装いとします。

各駅における工事内容および工事期間については以下のとおりです。

1. 「高野山駅駅舎耐震補強並び改修工事」について

(1) 工事内容

- ・構造用合板による耐震補強を実施します。
- ・昭和5年の開業以来使われてきた国の登録文化財である駅舎の外観を、可能な限り開業当時の意匠へ復元します。
- ・乗車券や特急券の販売窓口をオープンカウンター形式に改装します。
- ・駅舎内にバスの案内カウンターを整備します。
- ・売店（おみやげ屋）を改装します。
- ・木造2階建て駅舎であることを生かし、2階を高野山の四季や高野山へ至る鉄道の歴史などを展示するスペースとして整備します。また、トイレやエレベーターを新設し、休憩スペースとしても活用します。

(2) 工事期間

平成26年7月7日（着手済み）から平成27年2月末まで（予定）



高野山駅舎改修後のイメージ

2. 「極楽橋駅コンコース美装化工事」について

(1) 工事内容

高野線の電車から鋼索線のケーブルカーへ乗り換えるルートにあたるコンコースおよび連絡通路の壁面・天井を塗装します。また、ホームの一部、コンコースおよび連絡通路において、行燈（あんどん）型の照明器具を配置します。

(2) 工事期間

平成26年8月3日から10月末まで（予定）

以 上